



Application

マウスジェノタイピング

製品名

KAPA TaqEX tra PCRキット (KK3009)

メーカー名

KAPA BIOSYSTEMS 社

下記フィードバックは、東京薬科大学 生命科学部 心血管医科学研究室 伊東史子先生のご厚意により掲載させていただきました。マウステールからアルカリ法で抽出したゲノムDNAに対して、T社PCR酵素でPCR増幅が見られなかったサンプルについてKAPA TaqEX tra で増幅を試みました。

操作

マウステール

細胞溶解 —— アルカリ処理

DNA抽出

PCR —— KAPA TaqEXtra PCRキット 15μl反応/チューブ

■ 反応組成 (15μl反応の場合)

KAPATaq EXtra DNAポリメラーゼ (5U/μl)	0.075μl
5×KAPATaq EXtraバッファー (Mg ²⁺ free)	3μl
25mM MgCl ₂	1.5μl
dNTP Mix (10mM each)	1.5μl
PrimerA (100μM)	0.15μl
PrimerB (100μM)	0.15μl
PrimerC (100μM)	0.15μl
Template DNA	1μl
PCR grade Water	up to 15μl

■ PCR条件

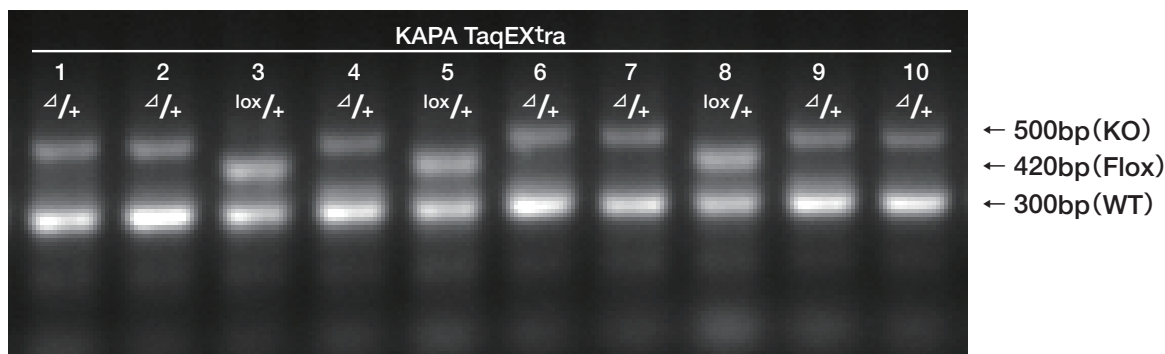
95°C	3分	} 35サイクル
95°C	30秒	
63°C	30秒	
72°C	1分	
72°C	7分	
4°C	∞	

検出

アガロースゲル電気泳動

判定

結果



臓器特異的Cre発現マウスとの交配により、1, 2, 4, 6, 7, 9, 10レーンのマウスで遺伝子がノックアウトされたヘテロノックアウトマウスであることが確認されました。



お客様のコメント

T社PCR酵素では、FloxとKOのタイピングを同時に行うことができませんでしたが、KAPA TaqExtraでは一度にタイピングができるので、時間と手間を短縮することができました。